

## 23年度 第7回運営会議ニュース

日	時	平成23年11月13日(日)13:30～16:00会議
場	所	県立座間谷戸山公園 パークセンター
出	席	者
		15名

### 議題

#### (1)各ゾーンエリアにおける要望事項について

園内の各エリア施設の改善要望事項について、先月の会議に引き続き、会長から項目等を取りまとめた資料の配付があった。新たに3項目を追加した。

##### ○わきみずの谷の水路について

- ・(意見)ホトケドジョウの遡上には不向きで、南谷戸の南側水路の方が良いのでは。
- ・県内水面試験場に依頼して、エリアの状況と一緒に見てもらいたい。→公園側で依頼する(問い合わせたところ、この時期の調査は不向きで、来年3月以降に延期になった。)

##### ○わきみずの谷の池におけるアオコ発生改善について

- ・(意見)原因として、最下流の汚れた水をポンプアップで池の上流から流していることが挙げられる。
- ・(公園)来年度、わきみずの谷湧水地井戸を改修する予定で、改修により湧水量が増えれば、ポンプアップの使用比率を減らせるのでは。また、防災井戸の改修は今年度に行う予定。
- ・(意見)ポンプにフィルター装置を付けて水質浄化させれば良いのでは。

##### ○野鳥の原っぱのビオトープ池の復活について

- ・(意見)野鳥の原っぱは造成時に盛土されていて、以前は浸みだした水の質も悪かった。そのせいか判らないが、カエルの卵の成長も悪い等の影響があった。現在はだいぶ改善しているようなので復活させたい。
- ・(意見)エリアには、カワラヒワ、マヒワ、ヒレンジャク、ツグミ、ウソ、トラツグミ等が飛来するので復活に期待できる。
- ・野鳥の水浴び・水飲み場、カエルの産卵場に最適であり、復活させることになった。
- ・排水路を含めてビオトープ池の基本設計を東部センターに要望する。  
(意見)池はあとあとボランティアが管理できる程度の広さでよい。  
(意見)原の縁に休憩ベンチがあると良い。また、野鳥の好む実の成る木を植えて欲しい。

#### (2)カエル沼の手入れ作業について(専門委員、ぼらぼら)

- ・例年通りカエル沼の手入れを行いたい→了承(12月11日の9:30里山体験館に集合)

### その他報告事項など

#### ○公園事務所

- ・台風15号による被災状況については、10月30日時点で230本の倒木等を確認。そのうち127本が園路沿いの木で、その半数がコナラだった。
- ・湿生生態園のオニグルミの木が倒れる危険があるので、下枝を2本程残して剪定したい→了承
- ・27日の公園まつりのイベントについてチラシを配付。例年通りもち米を収穫することができた。

#### ○写楽会

- ・10月の写真展は、2000人弱の来場者があった。
- ・野鳥情報:オシドリ、カイツブリ、カケス、カルガモ、シマエナガ(迷鳥)、ハシビロガモ、バン、ホシハジロ、マガモ※今年はコガモがまだ来ていない。
- ・カエル沼周辺の草刈り時期について確認→来年度は6月末までには行う

次	回	12月11日(日)13:30～16:00
---	---	----------------------